

4月の言葉

「山笑ふ」って

これは、中国北宋時代の画家郭熙（かくき）が、その画論で使った表現で、後に俳句で春の季語として使われるようになったものです。山の木々が色づき花が咲き誇っている様子が見事に表現されて、春の息吹が鮮やかに感じられますね。

さあ我々もいよいよ新しい生活の始まりです。新入生諸君は、高校生として初めての生活に、2年生は、学校を担う学年の生活に、3年生は自分の未来を切り拓く生活に、それぞれに大きな夢を持ち、今までの自分を乗り越えて、新たな自己実現に一所懸命突き進んでいってください。「山笑ふ」春。色づく木々、咲き誇る花のごと、自分というキャンバスをたくさんの素敵な色で埋めましょう。

「故郷や どちらを見ても 山笑ふ」正岡子規

己亥（つちのとい）年卯月朔日